92 午　前

◎　指示があるまで開かないこと。

（平成21年2月19日　10時45分〜12時00分）

注　意　事　項

1. 試験問題の数は55問で解答時間は正味1時間15分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

各問題には1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を（例1）では1つ、（例2）では2つ選び答案用紙に記入すること。

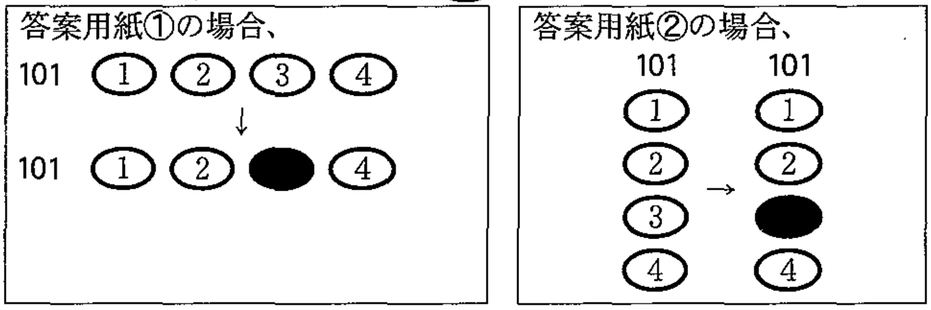
なお、（例1）の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。（例2）の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

（例1）

101　助産師免許の申請要件で正しいのはどれか。

1. 助産師国家試験に不合格でも保健師国家試験に合格すればよい。
2. 助産師国家試験に不合格でも看護師国家試験に合格すればよい。
3. 看護師国家試験に合格し助産師国家試験に合格すればよい。
4. 看護師国家試験に不合格でも助産師国家試験に合格すればよい。

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。



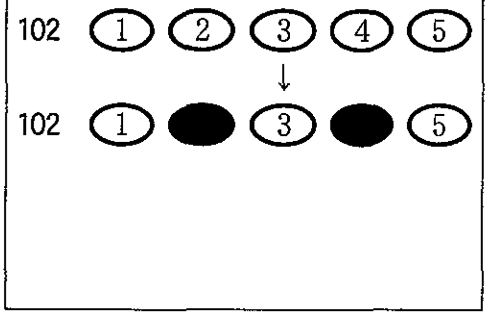
（例２）

102　保健師助産師看護師法で規定されている看護師の業務はどれか。２つ選べ。

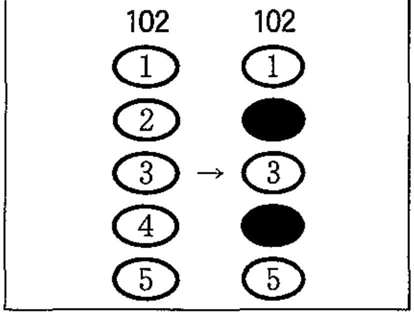
1. 調　剤
2. 診療の補助
3. 診断書の交付
4. 療養上の世話
5. エックス線撮影

正解は「２」と「４」であるから答案用紙の②と④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、



答案用紙②の場合、



1　プロラクチンで正しいのはどれか。

1. 乳汁産生作用がある。
2. 下垂体後葉から分泌される。
3. 血中濃度は分娩終了直後から上昇する。
4. 乳汁による腺房拡張でプロラクチンの受容体は増加する。

2　母子保健施策の変遷の組合せで正しいのはどれか。

1. 昭和 21 年 ──── 母子健康手帳の創設
2. 昭和 40 年 ──── 母子保健法の制定
3. 平成 8 年 ──── 優生保護法の制定
4. 平成 12 年 ──── エンゼルプランの策定

3　風疹の胎内感染で正しいのはどれか。

1. 出生児の皮膚に水疱が出現する。
2. 妊娠 12 週以降の感染では生後の発達障害は起こらない。
3. 先天性風疹症候群では心奇形、眼疾患および難聴がみられる。
4. 妊娠初期の検査で風疹抗体価が高くても症状がなければ感染していない。

4　受精で正しいのはどれか。

1. 射精直後の精子は受精能を持たない。
2. 先体反応が起こるのは射精時である。
3. 排卵は FSH サージ作用によって起こる。
4. 排卵後の卵胞にはグラーフ卵胞が形成される。

5　胎盤を通過しにくいのはどれか。

1. IgG
2. グルコース
3. インスリン
4. ダイオキシン

6　妊娠期の変化で正しいのはどれか。

1. 卵巣は約3倍に増大する。
2. 腟分泌物はアルカリ性を呈する。
3. 腟上皮のグリコゲン含有量は減少する。
4. 子宮筋層内では筋線維の増殖が起こる。

7　骨産道で正しいのはどれか。

1. 骨盤腔で最も広い部分は出口部である。
2. 仙骨の形態で直線型は回旋異常の原因となる。
3. 骨盤入口面が扁平型の骨盤では恥骨弓は狭い。
4. 骨盤軸は骨盤各面の横径の中点を結んだ想像線である。

8　分娩体位と陣痛との関係を仰臥位の場合と比較した。
正しいのはどれか。

1. 側臥位の方が陣痛の強度が増加する。
2. 側臥位の方が陣痛の頻度が増加する。
3. 立位の方が陣痛の強度が減少する。
4. 立位の方が陣痛の頻度が増加する。

9　胎児心拍数モニタリングで正しいのはどれか。

1. 心拍数基線の正常範囲は 100～140 bpm である。
2. reassuring FHR pattern では胎児の状態が良好である。
3. 一過性頻脈では振幅 10 bpm 以上が 30 秒以上持続する。
4. non-reassuring FHR pattern では脳性麻痺の発症率が約 10% である。

10　母乳で正しいのはどれか。

1. 母乳に含まれる糖質の約 95 % はショ糖である。
2. 血中プロラクチン値は産後 6 か月で非妊時に戻る。
3. 児の吸引刺激はオキシトシンの分泌亢進に影響しない。
4. 母乳に含まれるラクトフェリンは児の腸管内で感染を防御する。

11　妊娠高血圧症候群で正しいのはどれか。

1. HELLP 症候群は病型分類の 1 つである。
2. 正常妊娠よりも血液希釈の程度が大きい。
3. 妊娠 33 週で発症した症例は早発型と診断できる。
4. 利尿薬は肺水腫や心不全の場合を除き使用しない。

12　羊水過多で考えられる胎児異常はどれか。

1. 肺低形成
2. 尿道閉鎖
3. 消化管閉塞
4. 腎形成不全

13　子宮復古不全の**リスク因子でない**のはどれか。

1. 初　産
2. 早　産
3. 子宮筋腫
4. 卵膜遺残

14　乳児の鵞口瘡で正しいのはどれか。

1. 直接授乳を中止する。
2. 抗真菌薬を塗布する。
3. 原因はアスペルギルスである。
4. 口腔粘膜や舌に赤色の偽膜を認める。

15　呼吸窮迫症候群で正しいのはどれか。

1. 女児に多い。
2. 肺胞の表面張力は低下している。
3. 肺表面活性物質は増加している。
4. 破水後時間がたつと発症頻度は低下する。

16　正常新生児と比較した低出生体重児の特徴で正しいのはどれか。

1. 熱放散が多い。
2. 換気効率が高い。
3. 気道抵抗が小さい。
4. 褐色脂肪細胞が多い。

17　突発性発疹で正しいのはどれか。

1. 主に3歳児が感染する。
2. ヒトパルボウイルスによる。
3. 紅い斑状丘疹である。
4. 発疹の出現後も高熱が続く。

18　胎児の超音波検査の写真(**別冊**No.　1①～④)を別に示す。図の＋印は計測する径線端を表す。

推定児体重の算出の指標となるのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

別　冊
No.　1　①～④

19　夫とともに健康診査に来院した打撲痕のある妊婦に対し、助産師はDV(ドメスティック・バイオレンス)を疑った。

適切な対応はどれか。

1. 夫を診察室に呼び打撲の理由を尋ねる。
2. 夫のいないところで妊婦に相談機関について情報提供する。
3. 妊婦には告げずに配偶者暴力相談支援センターに通報する。
4. 妊婦にDV(ドメスティック・バイオレンス)の被害者であると説明する。

20　18歳の女子。腟分泌物増量と不正出血とを主訴に来院し、性器クラミジア感染症と診断された。妊娠は希望していない。

保健指導で適切なのはどれか。

1. 経口避妊薬の服用を勧める。
2. コンドームの使用を勧める。
3. 不妊になる可能性は低いと説明する。
4. パートナーは無症状なら感染していないと説明する。

21　28歳の女性。無月経を主訴に来院した。「これまで、月経周期は28日型で順調であったが、月経の予定日より1週間が過ぎても未だ月経がない」と言う。免疫学的妊娠反応は陽性であった。

正常な所見はどれか。

1. 腹壁から子宮体が触知できた。
2. 子宮の大きさが手拳大であった。
3. 超音波ドプラ法で胎児心音を聴取できた。
4. 超音波検査で子宮内に胎嚢が確認できた。

22　24歳の妊婦。勤務歴1年の会社員。「夫は自営業で自宅で仕事をしていますが、私は育児休業が取れますか」と質問があった。

説明で正しいのはどれか。

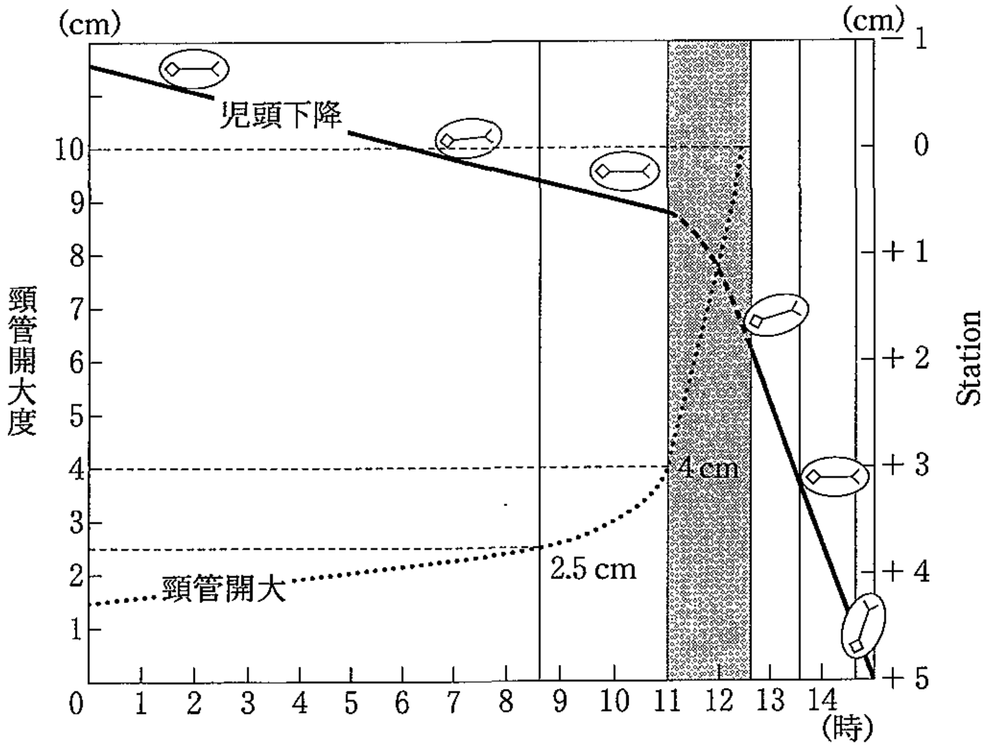
1. 「女性だから取れます」
2. 「勤務歴が短いので取れません」
3. 「あなたが労働者なので取れます」
4. 「あなたの夫が家にいるので取れません」

23　32歳の初産婦。妊娠26週5日。血圧138/89 mmHg。尿蛋白2＋、尿糖2＋、浮腫2＋、Hb 10.5 g/dl、Ht 31％。血糖値は空腹時90 mg/dl、食後2時間150 mg/dl。子宮頸管長35 mmで自覚できる子宮収縮はみられなかった。

現在の病態のアセスメントで正しいのはどれか。

1. 切迫早産
2. 妊娠貧血
3. 妊娠糖尿病
4. 妊娠高血圧症候群

24　パルトグラムを示す。



分娩経過のアセスメントで正しいのはどれか。

1. 額　位
2. 高在縦定位
3. 低在横定位
4. 不正軸進入

25　分娩体験の想起で適切なのはどれか。

1. 想起は産褥5日に実施する。
2. 褥婦が分娩経過を誤解している場合には修正する。
3. 褥婦が分娩を肯定的に受け止めている場合には効果がない。
4. 褥婦が分娩を否定的に受け止めている場合には忘れるよう促す。

26　出生直後の全ての新生児に行うケア（ルーチンケア）**でない**のはどれか。

1. 保温をする。
2. 足底を刺激する。
3. 気道を開通させる。
4. 皮膚を乾燥させる。

27　破水後6時間、陣痛開始から4時間。体温37.6℃、脈拍102回/分、血圧122/86 mmHgである。血液検査は白血球16,700/μl、CRP 3.5 mg/dlである。分娩監視装置でreassuringである。陣痛間欠4分、発作40〜60秒。第2頭位で現在小泉門は10時にある。少量の黄緑色の羊水がパッドに付着している。

今後予測されるのはどれか。

1. 子　癇
2. 回旋異常
3. 微弱陣痛
4. 胎児機能不全

28　オキシトシンによる分娩誘発法で正しいのはどれか。

1. 5％ブドウ糖液 500 m*l* に 5 ～10 U のオキシトシンを溶解する。
2. 投与速度は 20 mU/分程度から開始する。
3. 投与量が多くなると利尿作用が出現する。
4. 反応不良な場合にはプロスタグランジンを併用する。

29　産褥期のマイナートラブルとその処置の組合せで**誤っている**のはどれか。

1. 乳頭亀裂 ――――――― 局所の清潔
2. 乳汁うっ滞 ―――――― 搾　乳
3. 外陰部血腫 ―――――― 局所の圧迫
4. 産褥期の尿閉 ――――― 下腹部の冷湿布

30　正常分娩後の経産婦における産褥経過で正常から逸脱しているのはどれか。

1. 産後 12 時間、会陰縫合部の拍動痛
2. 産褥 1 日、子宮底臍下 2 横指
3. 産褥 2 日、強い後陣痛
4. 産褥 20 日、少量の血性悪露

31 子宮筋腫合併妊娠で正しいのはどれか。

1. 癒着胎盤の頻度が高くなる。
2. 子宮復古不全の頻度は変わらない。
3. 子宮頸部筋腫では微弱陣痛を起こしやすい。
4. 子宮体部筋腫では産道通過障害を起こしやすい。

32 生後2週の新生児。母乳栄養である。
栄養の追加を考慮すべき徴候はどれか。

1. 1日11回授乳している。
2. 出生時体重に達している。
3. 排尿回数が1日7、8回である。
4. 退院後から1日当たりの体重増加が15gである。

33 高校2年生の女子を対象とした健康教育を行うこととした。
内容で**優先度が低い**のはどれか。

1. 性感染症予防
2. 極端な食事制限の影響
3. 二次性徴に伴う体の変化
4. 喫煙による健康への影響

34　妊婦に実施可能な予防接種はどれか。

1. 麻　疹
2. 風　疹
3. ポリオ
4. インフルエンザ

35　正しいのはどれか。

1. 未熟児訪問指導は市町村が主体となって行う。
2. 妊産婦訪問指導は市町村が主体となって行う。
3. 新生児訪問指導を行うのは助産師でなければならない。
4. 新生児訪問指導は生後 30 日以内に行わなければならない。

36　産科病棟における新生児の感染予防対策で適切なのはどれか。

1. 毎日沐浴を実施する。
2. 母と子の皮膚接触を推奨する。
3. 新生児室で無菌的管理とする。
4. 授乳ごとの乳頭消毒を奨励する。

37　正しいのはどれか。

1. 助産師が救命のために医行為を行うことは違法である。
2. 助産師は医師の指示の下に行った行為に責任を負わない。
3. 産科の医療事故訴訟で最も多いのは「母親の死亡」である。
4. 助産師には裁量性が認められるとともに注意義務がある。

38　更年期女性へのホルモン補充療法によって改善されるのはどれか。**2つ選べ。**

1. 高血圧
2. 高血糖
3. 子宮筋腫
4. 骨粗鬆症
5. 血管運動神経性障害

39　妊娠 20 週で大球性正色素性貧血を認めた。

不足している可能性が高いのはどれか。**2つ選べ。**

1. 鉄
2. 葉　酸
3. カルシウム
4. ビタミン B_6
5. ビタミン B_{12}

40　経口避妊薬によって発生率が低下するのはどれか。**2つ選べ。**

1. 乳　癌
2. 卵巣癌
3. 外陰癌
4. 子宮体癌
5. 子宮頸癌

次の文を読み 41〜43 の問いに答えよ。

25 歳の経産婦。妊娠 36 週の妊婦健康診査で外陰部と尿との細菌培養で B 群溶血性レンサ球菌陽性であった。38 週 0 日、午前 1 時に破水感があり入院した。

41 入院後に妊婦へ行うのはどれか。

1. セフェム系抗菌薬の内服
2. インドメタシン坐薬の投与
3. クロラムフェニコール腟錠の投与
4. ペニシリン系抗菌薬の点滴静脈内注射

42 同日夕方から陣痛が強くなり、午後 8 時に子宮口が全開大した。妊婦の体温は 38.7 ℃ であった。そのまま分娩となり頭位で 2,800 g の男児が出生した。生後 1 分の児の写真(別冊No. 2)を別に示す。生後 1 分では児は泣いていた。心拍数は 160/分で手足を動かし、口腔内吸引で咳をしている。羊水混濁はない。

生後 1 分の時点で児に対して行う処置で正しいのはどれか。

1. 口元で酸素を投与する。
2. マスクとバッグとで用手換気する。
3. 胃管を挿入する。
4. 胸骨圧迫をする。

別 冊
No. 2

43　生後3時間。児は体温37.2℃。心拍数155/分、呼吸数45/分。よく泣いて元気だったので母子同室となった。生後6時間と9時間とでは児の状態に変化はなかったが、生後12時間に「少し息を止めがちになる」と母親が児を抱いて新生児室にきた。心拍数195/分。体温36.0℃で末梢冷感を認める。チアノーゼはないが、呼吸は不規則で時々無呼吸となり刺激で回復する。

児への対応で最も重要なのはどれか。

1. 酸素投与を開始する。
2. 小児科医の診察を依頼する。
3. 産着を1枚重ねて保温する。
4. 白血球数とCRP値の測定を行う。

次の文を読み 44～46 の問いに答えよ。

22 歳の女性。大学 4 年生で 1 か月後に卒業予定である。無月経と、 2 日前から外陰部に疼痛と水疱とが出現したため来院した。 2 年前に性器ヘルペスに感染した既往があり、現在のパートナーは初感染時の人とは異なるという。

診察の結果、性器ヘルペスが再発しており妊娠反応は陽性であった。

44 性器ヘルペスの説明で正しいのはどれか。

1. 「再感染はまれなことですよ」
2. 「治癒には約 3 か月かかります」
3. 「再感染なので症状は重くなります」
4. 「抗ウイルス薬の内服が必要になるでしょう」

45 女性は「またヘルペスになってしまった。せっかく妊娠したのにこれからどうなるのですか」と尋ねた。

再発型ヘルペスを持つ妊婦の経過で正しいのはどれか。

1. 20 % 前後が流産する。
2. 産道感染よりも胎内感染が多い。
3. 経腟分娩は不可能である。
4. 新生児ヘルペスを合併するのは 5 % 弱である。

46　女性はパートナーと婚約しており、両親に結婚と妊娠とを伝える予定だという。「子どもにヘルペスがうつったらどうしよう。ヘルペスのことを彼に伝えたいけど不安。どうしたらよいのかわからない」と泣き出した。

対応で最も適切なのはどれか。

1. 今回の妊娠はあきらめてヘルペスの治療をするよう勧める。
2. 女性が実家の両親に現状を伝えて今後のことを相談するよう勧める。
3. パートナーにヘルペスのことは伝えずに妊娠継続することを勧める。
4. 女性がパートナーに現状を伝えて2人で話し合える方法をともに考える。

次の文を読み 47〜49 の問いに答えよ。

19 歳の初妊婦。大学 2 年生。妊娠 19 週 2 日。身長 165 cm、体重 48 kg(非妊時 45 kg)。今回の妊娠を機に 2 年間交際していた 21 歳の大学生と結婚した。「乳首の色がすごく濃くなって自分の体じゃない感じがする。おりものの量が最近増えてきて気持ち悪い」と話す。腟分泌物は無色透明で粘稠性があり、外陰部の発赤と瘙痒感とはない。子宮底長 15 cm、児心音 146 bpm。血圧 102/58 mmHg、尿蛋白(−)、尿糖(−)。Hb 11.0 g/dl、Ht 34 %。

47 妊婦への説明で正しいのはどれか。

1. 「貧血の傾向がありますね」
2. 「妊娠すると腟の分泌物が増えますよ」
3. 「妊娠週数のわりに子宮底長が小さいですね」
4. 「乳首や乳輪の色が変わったのはリビド着色といいます」

48 「あまり太りたくないので、お惣菜を買うときに何を買っていいか困ってしまうんです。もう 3 kg も太ってしまったんです」と話す。

指導で適切なのはどれか。

1. 体重増加は正常である。
2. サプリメントで栄養を補う。
3. 児の成長のためにもっと体重を増やす。
4. 副菜の量を増やして主食の量を減らす。

49　妊婦は「結婚できたことはうれしいし、２人で赤ちゃんのことを話すのは楽しいです。でも体がだるくてお産まで頑張れるか心配です。学校もできるだけ続けたいけれど自信がありません。彼はこれまでと変わらず楽しそうで、どうして自分だけがこんなに大変なのかと思うこともありますが、彼には言えません」と話す。

アセスメントで適切なのはどれか。**２つ選べ。**

1. 妊娠を肯定的に捉えている。
2. 学業の中断について不安がある。
3. 夫とのコミュニケーションは十分にとれている。
4. 本人だけでなく夫にも妊娠・出産に対する心理的準備を促す必要がある。
5. この夫婦関係が長引くとDV（ドメスティック・バイオレンス）のリスクが高まる。

次の文を読み 50〜52 の問いに答えよ。

35 歳の 1 回経産婦。妊娠中から下腿に静脈瘤があった。今回 3,018 g の女児を分娩した。分娩経過に異常はない。出産当日から 24 時間母子同室で母乳育児を行っている。産褥 3 日。授乳時に下肢の疼痛の訴えがあり、左下腿に腫脹、発赤、熱感および静脈の怒張を認めた。

50　この徴候への対応で正しいのはどれか。

1. 下腿の温浴
2. ガードルの着用
3. 下腿のマッサージ
4. 弾性ストッキングの着用

51　薬物治療が行われることとなった。褥婦から「これまでどおり母乳育児は続けられますか。薬は赤ちゃんに影響しないのですか。足も痛いです」と質問があった。

対応で適切なのはどれか。

1. 「薬物治療が始まるので人工乳に代えましょう」
2. 「母乳は続けられるので添い寝で授乳してみましょう」
3. 「母乳は続けられるので椅子に座って授乳をしましょう」
4. 「赤ちゃんを新生児室に預け 3 時間ごとに授乳室で母乳をあげましょう」

52　退院後2週、褥婦から乳房痛があり発熱していると電話があった。電話の問診から、感冒様症状はないが倦怠感が強く、体温は39.0℃で、右乳房外側に硬結と発赤、乳管口に白斑が1か所あるという。

対応で適切なのはどれか。

1. 受診を勧める。
2. 休養のため授乳を中断する。
3. 硬結部位の温罨法を勧める。
4. 自己乳房マッサージを勧める。

次の文を読み 53〜55 の問いに答えよ。

病床数 30 床の産婦人科病院。42 歳の助産師が病棟師長として病棟の管理および運営を行っている。病棟の助産師の人員構成は、経験 1 年目 4 人、 2 〜 4 年目 5 人、 5 〜 9 年目 8 人、10 年目以上 5 人である。

53 人材育成における病棟師長の責務で適切なのはどれか。

1. 助産師個々の目標を決定する。
2. 新人助産師のプリセプターになる。
3. 分娩室には経験年数 5 年以上の助産師を配置する。
4. 病院外で行われる研修会に参加できる環境を整える。

54 母乳ケア外来を開設し、病棟の助産師 1 名が毎日担当することとなった。
適切なのはどれか。

1. 集団指導を中心とする。
2. 対象は出産後 1 年までの母親とする。
3. 乳房ケア以外に心理的サポートも行う。
4. 断乳に関する相談は産科外来を紹介する。

55 回旋異常のため帝王切開術で分娩した褥婦から「自分の分娩の経過を詳しく知りたい」と求められた。
褥婦への対応で適切なのはどれか。

1. 分娩時の経過記録の写しを渡す。
2. 理由によっては情報提供をしない。
3. 診療記録ではない助産録は情報提供しない。
4. 口頭および文書で分娩の経過について説明する。

92 午　後

◎　指示があるまで開かないこと。

（平成21年2月19日　13時55分〜15時00分）

注　意　事　項

1. 試験問題の数は50問で解答時間は正味1時間5分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

各問題には1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を（例1）では1つ、（例2）では2つ選び答案用紙に記入すること。

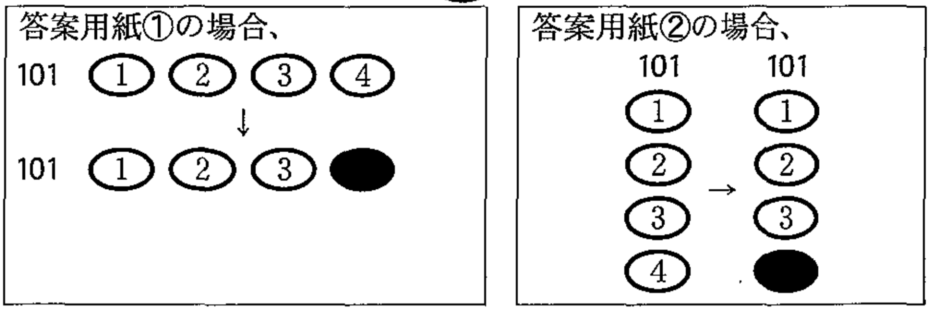
なお、（例1）の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。（例2）の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

（例1）

101　助産師国家試験の受験資格が規定されているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 母子保健法
4. 保健師助産師看護師法

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

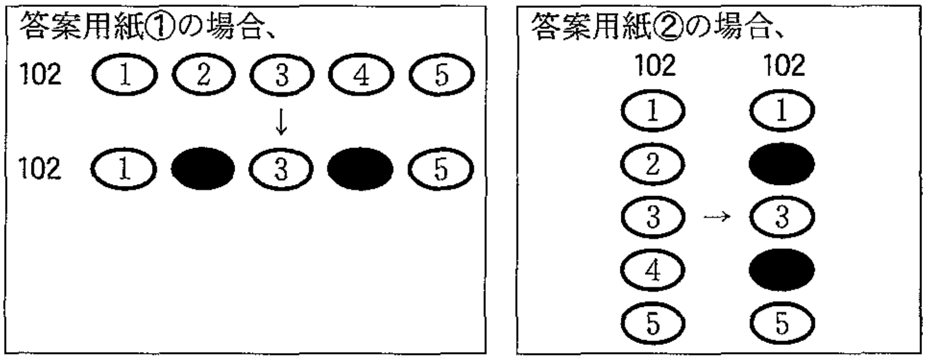


（例２）

102　保健師助産師看護師法で規定されている看護師の業務はどれか。２つ選べ。

1. 調　剤
2. 診療の補助
3. 診断書の交付
4. 療養上の世話
5. エックス線撮影

正解は「２」と「４」であるから答案用紙の②と④をマークすればよい。



1　我が国の生殖補助医療で優先するのはどれか。

1. 経済的効果
2. 染色体異常の発見
3. 生まれてくる子の福祉
4. 妊娠の確率が高い方法

2　妊婦に禁忌の薬物はどれか。

1. ワルファリン
2. ヒドララジン
3. メトクロプラミド
4. クロルフェニラミン

3　成熟期女性の健康問題で正しいのはどれか。

1. 子宮筋腫の有病率は 50 % である。
2. 不妊と子宮内膜症とは統計学的に関連がない。
3. 乳癌は 2005 年悪性新生物死亡原因の第 5 位である。
4. 性器クラミジア感染は子宮外妊娠のリスク因子となる。

4　胎児の成熟と機能で正しいのはどれか。

1. 妊娠 8 ～12 週に器官形成される。
2. 妊娠 16～20 週ころから随意的排尿がみられる。
3. 妊娠 20 週ころには肺胞は肺水で充満している。
4. 妊娠 24 週ころから羊水を嚥下する。

5　子宮峡部(子宮体下部)で正しいのはどれか。

1. 非妊時は約 5 cm である。
2. 横紋筋からなる通過管である。
3. 組織学的内子宮口を産科学的内子宮口という。
4. 陣痛開始後の頸管の開大に続いて展退が始まる。

6　妊娠中の栄養で正しいのはどれか。

1. 末期に BMI 25 は肥満妊婦である。
2. 食塩摂取量は 1 日に 10 g 以下が望ましい。
3. 非妊時に比べてカルシウムの吸収率が低下する。
4. 末期の体重増加は 1 か月に 500 g 以内が標準的である。

7　分娩開始の前兆はどれか。

1. 胎児下降による排尿困難
2. 羊膜血管の破綻による産徴
3. 前駆陣痛による下腹部の収縮輪
4. 骨盤底の弛緩による胎児下降感

8　分娩中の母体の変化で正しいのはどれか。

1. 体温調節能が低下する。
2. 分娩第 1 期には尿量が増加する。
3. 胃腸の運動・消化吸収が亢進する。
4. 分娩第 1 期には心拍出量が最大となる。

9　産褥期の変化で正常なのはどれか。

1. 子宮筋線維の変性を認めない。
2. 血液凝固能は産褥 3 日で回復する。
3. 血色素量は産褥 4 、 5 日まで低下する。
4. 内子宮口は産褥 3 週で 1 指程度に閉鎖する。

10　新生児の睡眠で正しいのはどれか。

1. 睡眠のリズムは母乳哺乳の影響を受ける。
2. 覚醒している時間は正期産児よりも早産児の方が長い。
3. レム睡眠の合計時間は正期産児よりも早産児の方が短い。
4. レム睡眠では呼吸や心拍数の変動がノンレム睡眠よりも少ない。

11　25 歳の女性。最終月経から 45 日経っても無月経のため来院した。妊娠反応陽性であったが、超音波検査で胎嚢が確認されなかった。帰宅途中で急に下腹部痛が出現し、少量の性器出血があったので病院へタクシーで引き返して来た。冷汗と腹部の圧痛とがある。

可能性の高いのはどれか。

1. 子宮外妊娠
2. 胞状奇胎
3. 稽留流産
4. 完全流産

12　分娩時の異常で正しいのはどれか。

1. 後方前頭位は経腟分娩が不可能である。
2. 胎位胎勢異常は過強または微弱陣痛の原因となる。
3. 胎児娩出直後の鮮紅色の出血は子宮破裂と判断する。
4. 子宮口7、8 cm 開大時点で陣痛周期が1分30秒は過強陣痛である。

13　新生児の異常呼吸とその説明の組合せで正しいのはどれか。

1. 鼻翼呼吸 ――― 鼻孔の律動的な縮小
2. 呻　吟 ――― 吸気時に出すうなり声
3. 無呼吸 ――― 20秒以上の呼吸運動の停止
4. 陥没呼吸 ――― 呼気時の肋間、胸骨下および鎖骨上窩の陥没

14　病院を受診している妊婦とその家族とを対象に、参加型の両親学級の企画・運営を行うこととした。

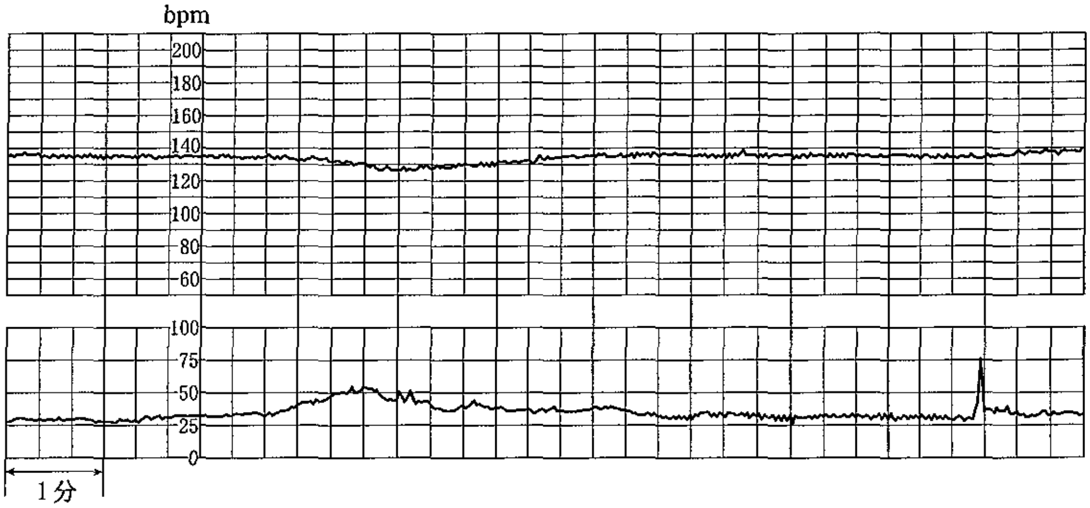
グループの発達段階と助産師の役割の組合せで正しいのはどれか。

1. グループ形成の初期 ――― 受容的に見守る。
2. 自発的に参加し始める時期 ――― 指示を与えて主導する。
3. 信頼や連帯感が生じる時期 ――― リーダーを指名する。
4. 一丸となり活動する時期 ――― 活動内容などを調整する。

15　更年期女性の尿失禁で正しいのはどれか。

1. 腹圧性尿失禁には膀胱訓練が有効である。
2. 切迫性尿失禁には骨盤底筋訓練が有効である。
3. 切迫性尿失禁よりも腹圧性尿失禁の方が多い。
4. 低用量の副腎皮質ステロイドの服用が有効である。

16　妊娠 38 週 0 日。図は外来での胎児心拍陣痛図である。



適切な対応はどれか。

1. 翌日に NST の再検査をする。
2. 胎動が減少したら受診するよう指導する。
3. 1 時間散歩した後に NST の再検査をする。
4. 帝王切開の準備をする。

17　33 歳の 1 回経産婦。他院で妊娠と診断され、妊娠 14 週で妊婦健康診査のために来院した。前回の出産では妊娠悪阻で 2 週間入院治療を受け、妊娠 24 週で前期破水を起こし緊急に古典的帝王切開術を行った。HTLV-1 抗体は陽性だった。

今回の妊娠中期の管理で最も注意すべき既往はどれか。

1. 古典的帝王切開
2. 妊娠 24 週で早産
3. HTLV-1 抗体陽性
4. 妊娠悪阻で入院治療

18　分娩第1期の正常な陣痛はどれか。

1. 子宮内圧法での発作時羊水圧が 10 mmHg である。
2. 活動期の陣痛周期が7分である。
3. 子宮口4～8 cm 開大時の発作が 70 秒である。
4. 子宮口 9 cm～全開大時の発作が2分である。

19　30 歳の初産婦。昨夜午後8時に入院した。入院時は子宮口 2 cm 開大。本日午前7時の時点で子宮口 8 cm 開大、Station ＋1、陣痛間欠3分、発作 40～50 秒。陣痛間欠時はうとうとし、発作時は顔をしかめている。時々嘔気がある。

産婦への援助で最も適切なのはどれか。

1. 坐位でいるよう促す。
2. 朝食の全量摂取を促す。
3. 嘔気のたびに声を掛け含嗽を促す。
4. 陣痛発作に合わせて腰部をマッサージする。

20　産婦の状態と分娩体位の組合せで適切なのはどれか。

1. 腰痛が強くじっとしていられない ―――― 仰臥位分娩
2. 前回の分娩所要時間4時間の経産婦 ――― 座位分娩
3. 疲労している ―――――――――――― 側臥位分娩
4. 陣痛が弱く児頭が下降しない ――――― 四つん這い分娩

21　分娩後、出血が持続し総量が 2,000 ml となった。血圧が低下し、頻脈と血尿とが出現し始めた。

予測される血液・凝固系所見はどれか。

1. 出血時間　2分00秒
2. プロトロンビン時間　12秒
3. フィブリノゲン　120 mg/dl
4. FDP(フィブリン分解産物)　8 μg/dl

22　38歳の経産婦。妊娠39週5日に陣痛発来し入院した。入院時内診所見は子宮口4cm開大、展退度80%、Station ±0、矢状縫合は斜で、1時半方向に小泉門を触知した。陣痛間欠3分、発作30秒だった。5時間後の内診所見は、子宮口9cm開大、展退度100%、Station ±0、矢状縫合は斜で、1時半方向に小泉門を触知した。陣痛間欠2分、発作45秒だった。

可能性が高いのはどれか。

1. 正常分娩経過
2. 微弱陣痛
3. 回旋異常
4. 児頭骨盤不均衡

23　33歳の2回経産婦。経腟分娩30分後に状態を観察したところ、パッドに200gの出血があった。子宮底は臍下1横指に硬く触れた。褥婦に声をかけると眠そうに返答をしている。

対応で**優先度が低い**のはどれか。

1. 意識状態の観察
2. 血圧・脈拍の測定
3. 子宮底輪状マッサージ
4. 医師への状態の報告

24 乳汁分泌で正しいのはどれか。

1. 乳頭吸綴刺激によって開始する。
2. 母親の不安はオキシトシン分泌を低下させる。
3. 分泌量が増加している間はプロラクチン高値が持続する。
4. 乳頭吸綴刺激による乳腺への作用は、プロラクチンがオキシトシンよりも早い。

25 産後うつ病で正しいのはどれか。

1. 自殺念慮を認めることは少ない。
2. 三環系抗うつ薬は母乳移行が少ない。
3. 産後２、３週以後に発症することが多い。
4. 育児の自立を促すことが症状回復を早める。

26 成熟児に認められるのはどれか。

1. 関節が柔らかい。
2. 筋肉の緊張度が低い。
3. 多数の静脈が明瞭に見える。
4. 足底の前１/３にしわが少ない。

27 生後１日の新生児が血性の胃内容物を嘔吐した。
必要な検査はどれか。

1. 頭部 CT
2. アプト試験
3. シェイク試験
4. ガスリー検査

28 我が国の平成 18 年(2006 年)における妊産婦死亡の直接産科的死因の第 1 位はどれか。

1. 産科的塞栓
2. 分娩後出血
3. 前置胎盤及び胎盤早期剥離
4. 妊娠、分娩、産褥における浮腫、蛋白尿、高血圧性障害

29 市町村保健センターで正しいのはどれか。

1. 二次医療圏に 1 か所設置される。
2. 基本的な母子保健サービスを提供する。
3. 母子保健法によって設置が定められている。
4. 国の保健計画に基づきサービスを提供する。

30 正しいのはどれか。

1. 出生証明書には頭囲を記載する。
2. 出生の届出は子の出生地では行えない。
3. 出生の届出は 7 日以内に行わなければならない。
4. 医師の立会いがない場合には助産師が出生証明書を作成する。

31　医療法における助産所と医療機関との連携で適切なのはどれか。

1. 嘱託医師は産科・産婦人科以外を担当する医師でもよい。
2. 分娩を取り扱わない産科施設を嘱託医療機関と定めることができる。
3. 嘱託医療機関は助産所から 30 分以内で搬送できる距離になければならない。
4. 分娩を取り扱う有床の助産所は嘱託医師と嘱託医療機関を定めておかなければならない。

32　妊婦の循環動態で正しいのはどれか。**2つ選べ。**

1. 心拍出量は妊娠に伴って増加する。
2. 妊娠末期は非妊時よりも血圧が上昇する。
3. 循環血流量は分娩直後一過性に増加する。
4. 腎の糸球体濾過率は妊娠に伴って低下する。
5. 循環血流量は妊娠中期以降に約 30～50 % 増加する。

33　第一啼泣は均一に肺胞が拡張する上で重要である。
この作用に関与するのはどれか。**2つ選べ。**

1. 肺　水
2. 声　門
3. 呼　気
4. 吸　気
5. 酸素濃度

34　36歳の初産婦。妊娠26週2日。妊娠8週で二絨毛膜二羊膜双胎と診断された。身長160 cm、体重66 kg。BMI 25.8。血圧142/78 mmHg。尿蛋白＋、尿糖(±)。Hb10.5 g/dl。子宮底長30 cm、腹囲93 cm。下腿浮腫(±)。1週前から腰痛がある。腹部緊満感が頻回にある。出血はない。

妊婦への指導で適切なのはどれか。２つ選べ。

1. 入浴を制限する。
2. 鉄分の多い食材を勧める。
3. 摂取カロリーを制限する。
4. 妊婦用エアロビクスを勧める。
5. 腹部緊満感のあるときは休息をとる。

35　病院内で助産師外来の開設を計画している。

「助産所業務のガイドライン」の助産所における分娩の適応リストで、医師と共同管理をしながら、助産師が妊婦健康診査を行ってよいのはどれか。２つ選べ。

1. 高年初産
2. 4回経産婦
3. B型肝炎キャリア
4. 帝王切開分娩の既往
5. IUGR(子宮内胎児発育遅延)の既往

次の文を読み 36〜38 の問いに答えよ。

28 歳の初産婦。妊娠 39 週 3 日。午前 3 時に陣痛発来し午前 5 時に入院した。身長 145 cm、体重 53 kg。内診所見は子宮口 3 cm 開大、展退度 30 %、Station − 3、未破水であった。陣痛間欠 6 分、発作 40 秒であり経過を観察した。

36 午前 9 時、陣痛間欠 5 分、発作 40 秒。内診所見は子宮口 4 cm 開大、展退度 60 %、Station − 2、頸部の硬度は軟、子宮口の位置は中央であった。胎児超音波検査と骨盤エックス線撮影とを行ったところ、児頭大横径 89 mm、推定児体重 2,850 g、産科真結合線 10.4 cm、入口部横径 11.3 cm、入口面法では児頭通過可能と判断された。

この時点のアセスメントで正しいのはどれか。

1. 狭骨盤
2. 比較的狭骨盤
3. 骨産道と軟産道とは正常
4. 骨産道は正常で軟産道強靱

37 午前 11 時に自然破水し分娩は順調に進行した。午後 4 時に子宮口が全開大し、午後 5 時 10 分排臨、午後 5 時 40 分に児頭が娩出した。その後第 4 回旋が起こらず、前在肩甲が恥骨結合上に留まったまま分娩停止した。

行うべき介助はどれか。**2 つ選べ。**

1. ブラハト法
2. 陰部神経ブロック
3. 恥骨結合上縁部圧迫
4. クリステレル圧出法
5. マックロバーツ体位

38　その後、体重 3,200 g の男児を分娩した。アプガースコアは 1 分後 8 点、5 分後 9 点であった。翌日、新生児の診察で右腕のモロー反射が減弱しており、右肘が伸展して前腕が回内した状態であった。右手の把握反射は認められた。エックス線撮影で骨折は認められなかった。

この児のケアで正しいのはどれか。

1. 前腕をシーネ固定する。
2. 上腕を外転位に保持する。
3. 早期に神経縫合術を行う。
4. 早期から積極的な他動運動を行う。

次の文を読み 39～41 の問いに答えよ。

32 歳の初産婦。妊娠 9 週。身長 161 cm、非妊時体重 76 kg。助産師が問診した際、26 歳時に 2 型糖尿病と診断されたが放置していたと話した。HbA_1c 7.2 %、血糖値は空腹時 140 mg/dl、食後 2 時間 200 mg/dl。直ちに血糖コントロール目的で産科病棟に入院した。

39　入院中に最も優先されるのはどれか。

1. 食事療法
2. 運動療法
3. 自己血糖測定
4. インスリン療法

40　入院後、助産師が今後の治療スケジュールや妊娠と糖尿病との関係について説明した。妊婦は学習には意欲的で、セルフケアのための技術は習得しているようだった。入院後 3 日「血糖測定のときに他の妊婦さんの目が気になる」、「今までの生活を変えるのは嫌だ」、「頑張っているのにもっと頑張れと助産師や医師から言われる」と泣きながら訴えた。

アセスメントで適切なのはどれか。

1. 医療不信がある。
2. 被害妄想がある。
3. 糖尿病についての理解が足りない。
4. 妊娠後の自己管理の厳しさに戸惑っている。

41　入院後３週、血糖管理の知識と技術とをよく習得していることから退院が決まった。料理は苦手なのでこれまで冷凍食品やレトルト食品をよく使っていたという。

退院指導で適切なのはどれか。

1. 本人ができると思える食事管理方法をともに考える。
2. 妊娠中の食事コントロールは厳しくしない。
3. 糖尿病食の調理方法を書いた本を渡す。
4. 本人が理解していれば家族への指導は不要である。

次の文を読み 42〜44 の問いに答えよ。

32 歳の初産婦。妊娠 40 週 1 日。身長 162 cm、体重 62 kg(非妊時 52 kg)。血圧 120/60 mmHg。尿蛋白(−)、尿糖(−)。浮腫(−)。昨日の午後 4 時から 10 分間欠の陣痛が開始し、本日午前 1 時に入院した。

42　入院時、陣痛間欠 6 分、発作 40 秒。内診所見は子宮口 4 cm 開大、展退度 70 %、子宮口の位置は中、頸管の硬度は軟、先進部は小泉門であり 1 時の方向に触れ、恥骨結合後面が 1 / 2 と坐骨棘を触れるところまで下降していた。胎児心拍陣痛パターンの所見は reassuring であった。

入院時の分娩経過の判断で正しいのはどれか。

1. Station は＋ 1 である。
2. 分娩第 1 期加速期である。
3. 児の胎向は第 2 胎向である。
4. ビショップスコアは 6 点である。

43　入院直後に行うケアで最も適切なのはどれか。

1. 入浴を勧める。
2. 分娩室で分娩監視を行う。
3. 陣痛室で間欠時に休息を促す。
4. 分娩進行のために散歩を勧める。

44 入院後 3 時間、陣痛間欠 4 分。粘液性の血性分泌物があり、いきみはない。トイレに入っている産婦から「水っぽいおりものがあった」と訴えがあった。

直ちに行うのはどれか。

1. 胎児心音を確認する。
2. 内診で破水の確認を行う。
3. 歩いて分娩室に移動させる。
4. パッドを当てるよう説明する。

次の文を読み 45〜47 の問いに答えよ。

生後 5 日の新生児。体重 2,510 g、体温 37.3 ℃。経皮ビリルビン 17.4 mg/dl、血清総ビリルビン 19.8 mg/dl、血清直接ビリルビン 0.8 mg/dl、Ht 52 %。CRP 0.2 mg/dl。排尿 2 〜 5 回/日、排便 1 〜 3 回/日。哺乳は自律授乳で 7 〜 9 回/日。出生時体重は 2,870 g。血液型は母親 B 型 Rh(D)陽性、児 O 型 Rh(D)陽性。母親は「授乳が終わってもお乳が張って痛い。赤ちゃんが眠りがちであまり飲んでない気がする」と言いながら母乳を 50〜60 ml 搾って保存していた。助産師は母親に哺乳量測定を提案し、測定すると哺乳量は 30 ml だった。

45 生後 5 日の状態で最も考えられるのはどれか。

1. 生理的黄疸
2. 閉塞性黄疸
3. 溶血性黄疸
4. 特発性高ビリルビン血症

46 生後 5 日の所見で異常なのはどれか。

1. 体　重
2. 体　温
3. Ht　値
4. CRP 値

47　母親への授乳指導で最も適切なのはどれか。

1. 自律授乳を続行する。
2. 搾乳した母乳を追加する。
3. 5％ブドウ糖液を追加する。
4. 母乳を中止する。

次の文を読み 48〜50 の問いに答えよ。

小学 5 年生 80 人を対象に、生まれてくることの素晴らしさを理解できるような授業を 45 分間でしてほしい、と小学校から助産師に依頼があった。両親が別居中の児童が約 1 割いることが学年担任から報告された。

48 助産師の基本的な姿勢で最も適切なのはどれか。

1. 打ち合わせは主に校長と行う。
2. 単発の授業なので実施後アンケートはしない。
3. 学校の教育内容で関連するものを把握しておく。
4. 授業後、保護者からの意見を直接受けるようにする。

49 能動的手法で胎児の大きさを理解させるのに適切な媒体はどれか。

1. 胎児発育の紙芝居
2. 妊婦体験ジャケット
3. 胎児発育曲線のポスター
4. 実際に触ることのできる胎児人形

50　授業の進め方で最も適切なのはどれか。

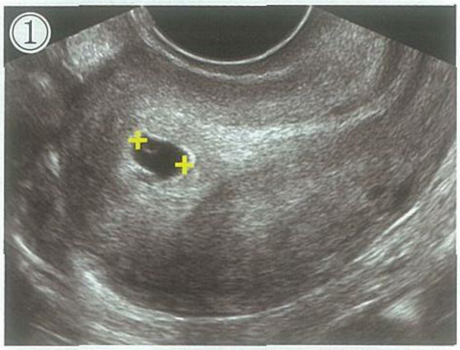
1. 異性への興味に関する内容を入れる。
2. 親を示す言葉の総称として「お母さん」を使う。
3. 最初に自己紹介で助産師がかかわる目的を話す。
4. あらかじめ児童に生まれた時の様子を保護者に聞いてきてもらう。

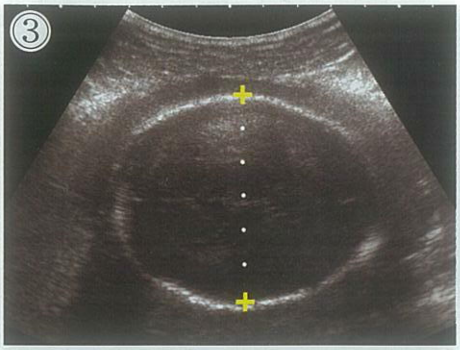
92

午　　前

別　　冊

No.　1　　　（午前　問題 18）




③

④

第92回　助産師国家試験　正答値表

問No.	正答1	正答2	正答3
A001	1		
A002	2		
A003	3		
A004	1		
A005	3		
A006	4		
A007	2		
A008	1		
A009	2		
A010	4		
A011	4		
A012	3		
A013	1		
A014	2		
A015	4		
A016	1		
A017	3		
A018	3		
A019	2		
A020	2		
A021	4		
A022	3		
A023	2		
A024	3		
A025	2		
A026	2		
A027	4		
A028	1		
A029	4		
A030	1		
A031	1		
A032	4		
A033	3		
A034	4		
A035	2		
A036	2		
A037	4		
A038	45		
A039	25		
A040	24		
A041	4		
A042	1		
A043	2		
A044	4		
A045	4		
A046	4		
A047	2		
A048	1		
A049	24		
A050	4		

問No.	正答1	正答2	正答3
A051	2		
A052	1		
A053	4		
A054	3		
A055	4		
B001	3		
B002	1		
B003	4		
B004	1	2	
B005	3		
B006	2		
B007	4		
B008	2		
B009	3		
B010	1		
B011	1		
B012	2		
B013	3		
B014	4		
B015	3		
B016	4		
B017	2		
B018	3		
B019	4		
B020	3		
B021	3		
B022	4		
B023	3		
B024	2		
B025	3		
B026	1		
B027	2		
B028	1		
B029	2		
B030	4		
B031	4		
B032	15		
B033	23		
B034	25		
B035	12		
B036	2		
B037	35		
B038	2		
B039	1	4	
B040	4		
B041	1		
B042	2		
B043	3		
B044	1		
B045	4		

問No.	正答1	正答2	正答3
B046	1		
B047	2		
B048	3		
B049	4		
B050	3		

問No.	正答1	正答2	正答3

新聞26日組27日付朝刊　ラ・テ26日午後2時以降解禁

第９５回保健師、第９２回助産師及び第９８回看護師
国家試験の合格発表について

平成２１年３月２６日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

平成21年２月に実施した標記国家試験の合格者を平成21年３月26日（木）午後２時に発表する。

なお、当該国家試験の合格者数等は下記のとおりである。

記

	（出願者数）	（受験者数）	（合格者数）	（合格率）
第９５回保健師	12,155人	12,049人	11,773人	97.7%
（うち新卒者	11,428人	11,357人	11,182人	98.5%）
第９２回助産師	1,756人	1,742人	1,741人	99.9%
（うち新卒者	1,722人	1,709人	1,708人	99.9%）
第９８回看護師	51,358人	50,906人	45,784人	89.9%
（うち新卒者	46,462人	46,101人	43,508人	94.4%）

新聞26日組27日付朝刊　ラ・テ26日午後2時以降解禁

平成21年3月26日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

第95回保健師、第92回助産師及び第98回看護師国家試験の合格基準

第95回保健師国家試験

一般問題を1問1点（74点満点）、状況設定問題を1問2点（60点満点）とし、次の合格基準を満たす者を合格とする。

総得点　81点以上／134点

第92回助産師国家試験

一般問題を1問1点（75点満点）、状況設定問題を1問2点（60点満点）とし、次の合格基準を満たす者を合格とする。

総得点　81点以上／135点

第98回看護師国家試験(尾道看護専門学校受験者以外)

必修問題及び一般問題を1問1点、状況設定問題を1問2点とし、次の①～②の全てを満たす者を合格とする。

①	必修問題	24点以上/30点
②	一般問題 状況設定問題	174点以上/270点

第98回看護師国家試験(尾道看護専門学校受験者)

必修問題及び一般問題を1問1点、状況設定問題を1問2点とし、次の①～②の全てを満たす者を合格とする。

①	必修問題	8点以上/10点
②	一般問題 状況設定問題	132点以上/200点

新聞26日組27日付朝刊　ラ･テ26日午後2時以降解禁

平成21年3月26日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

第95回保健師国家試験合格状況

	出願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
全　体	12,155	12,049	11,773	97.7
新卒者	11,428	11,357	11,182	98.5

区　分	学校数	新　卒				既　卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
大学	128	10,450	10,390	10,235	98.5%	657	624	541	86.7%
短期大学専攻科	11	325	323	317	98.1%	24	24	21	87.5%
養成所	24	653	644	630	97.8%	45	43	29	67.4%
その他		—	—	—	—	1	1	0	0.0%
計	163	11,428	11,357	11,182	98.5%	727	692	591	85.4%

新聞26日組27日付朝刊　ラ・テ26日午後2時以降解禁

平成21年3月26日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

第92回助産師国家試験合格状況

	出願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
全　体	1,756	1,742	1,741	99.9
新卒者	1,722	1,709	1,708	99.9

区　分	学校数	新　卒				既　卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
大学院	3	43	43	42	97.7%	—	—	—	—
大学専攻科	8	120	118	118	100.0%	—	—	—	—
大学	85	684	679	679	100.0%	19	19	19	100.0%
短期大学専攻科	10	170	170	170	100.0%	6	5	5	100.0%
養成所	35	704	698	698	100.0%	9	9	9	100.0%
その他		1	1	1	100.0%	—	—	—	—
計	141	1,722	1,709	1,708	99.9%	34	33	33	100.0%

新聞26日組27日付朝刊　ラ・テ26日午後2時以降解禁

平成21年3月26日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

第98回看護師国家試験合格状況

	出願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
全　体	51,358	50,906	45,784	89.9
新卒者	46,462	46,101	43,508	94.4

区分	学校数	新卒				既卒			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格率	出願者数	受験者数	合格者数	合格率
3年課程	671	31,474	31,306	30,102	96.2%	1,984	1,946	1,145	58.8%
大学	130	9,546	9,518	9,280	97.5%	303	291	208	71.5%
短期大学	47	1,754	1,748	1,608	92.0%	251	249	153	61.4%
養成所	494	20,174	20,040	19,214	95.9%	1,430	1,406	784	55.8%
2年課程	355	12,130	11,946	10,782	90.3%	2,580	2,528	991	39.2%
短期大学	9	95	95	85	89.5%	87	85	36	42.4%
養成所	280	8,143	8,108	7,625	94.0%	1,427	1,394	549	39.4%
高等学校専攻科	48	417	416	380	91.3%	428	420	117	27.9%
通信制	18	3,475	3,327	2,692	80.9%	638	629	289	45.9%
高校・高校専攻科 5年一貫教育	66	2,754	2,745	2,604	94.9%	319	318	132	41.5%
EPA		82	82	0	0.0%	—	—	—	—
その他		22	22	20	90.9%	13	13	8	61.5%
計	1,092	46,462	46,101	43,508	94.4%	4,896	4,805	2,276	47.4%

新聞26日組27日付朝刊　ラ・テ26日午後2時以降解禁

平成21年3月26日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

第95回保健師国家試験における採点除外等の扱いをした問題について

午前 第 33 問

33 我が国における平成 17 年(2005 年)の結核の状況で正しいのはどれか。

1. 罹患率に都道府県間で格差はない。
2. 罹患率は OECD 加盟国の中で最も低いレベルにある。
3. 1 年間に新たに登録された患者は約 3,000 人である。
4. 全結核患者中、喀痰塗抹陽性肺結核の割合は約 40 % である。

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理　由

正答肢が存在しないため、採点対象から除外する。

新聞26日組27日付朝刊　ラ・テ26日午後2時以降解禁

平成21年3月26日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

第95回保健師国家試験における採点除外等の扱いをした問題について

午後 第 40 問

次の文を読み 39～41 の問いに答えよ。

1 市 5 町総人口約 12 万人を管轄する保健所。管轄地域はすべて、大規模地震の防災対策強化地域に指定されている。保健所として管内の災害時要援護者支援マニュアル作成に取り組み、訪問看護ステーションに対応状況を確認したところ、災害に関する対策が不十分であることがわかった。

40 保健師は、一般の避難所では対応できない災害時要援護者の避難先の確保に関する検討会を企画した。

検討会の構成メンバーで優先度が高いのはどれか。

1. 県の危機管理担当者
2. 市町村の介護保険担当者
3. 社会福祉協議会事務局長
4. 介護老人保健施設の管理者

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理　由

複数の正解があるため、複数の選択肢を正解とする。

新聞26日組27日付朝刊　ラ・テ26日午後2時以降解禁

平成21年3月26日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

第92回助産師国家試験における採点除外等の扱いをした問題について

午後 第 4 問

4 胎児の成熟と機能で正しいのはどれか。

1. 妊娠 8 〜12 週に器官形成される。
2. 妊娠 16〜20 週ころから随意的排尿がみられる。
3. 妊娠 20 週ころには肺胞は肺水で充満している。
4. 妊娠 24 週ころから羊水を嚥下する。

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理　由

複数の正解があるため、複数の選択肢を正解とする。

新聞26日組27日付朝刊　ラ・テ26日午後2時以降解禁

平成21年3月26日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

第92回助産師国家試験における採点除外等の扱いをした問題について

午後 第 39 問

次の文を読み 39～41 の問いに答えよ。

32 歳の初産婦。妊娠 9 週。身長 161 cm、非妊時体重 76 kg。助産師が問診した際、26 歳時に 2 型糖尿病と診断されたが放置していたと話した。HbA_1c 7.2 %、血糖値は空腹時 140 mg/dl、食後 2 時間 200 mg/dl。直ちに血糖コントロール目的で産科病棟に入院した。

39　入院中に最も優先されるのはどれか。

1. 食事療法
2. 運動療法
3. 自己血糖測定
4. インスリン療法

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理　由

複数の正解があるため、複数の選択肢を正解とする。

新聞26日組27日付朝刊　ラ・テ26日午後2時以降解禁

平成21年3月26日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

第98回看護師国家試験における採点除外等の扱いをした問題について

午前　第98問

次の文を読み97～99の問いに答えよ。

23歳の男性。突然の胸痛と呼吸困難のため受診し、自然気胸と診断された。1週間安静にして様子をみていたが改善しないため入院した。胸腔ドレーンが挿入され、水封式装置につないでドレナージが開始された。

98　患者は「しばらく風呂に入っていないので気持ちが悪い」と言った。
対応で最も適切なのはどれか。

1. 全身清拭
2. 下半身はシャワー浴で上半身は清拭
3. 全身シャワー浴
4. 入　浴

採点上の取扱い

複数の選択肢を正解として採点する。

理　由

複数の正解があるため、複数の選択肢を正解とする。

新聞26日組27日付朝刊　ラ・テ26日午後2時以降解禁

○　第98回看護師国家試験における尾道看護専門学校の受験者に対しての採点除外問題一覧

平成２１年3月２６日
医政局看護課
照会先　島田、望月
内線2595、2599

問題番号	問題番号	問題番号	問題番号
午前1	午前48	午前113	午後70
午前2	午前51	午前114	午後71
午前3	午前54	午前115	午後78
午前4	午前57	午後1	午後81
午前5	午前64	午後2	午後89
午前6	午前69	午後4	午後95
午前8	午前73	午後7	午後106
午前11	午前74	午後8	午後107
午前13	午前75	午後10	午後108
午前14	午前76	午後11	午後110
午前15	午前77	午後12	午後114
午前17	午前84	午後14	午後118
午前18	午前97	午後20	
午前34	午前102	午後24	
午前37	午前107	午後32	
午前38	午前108	午後34	
午前39	午前109	午後38	
午前40	午前110	午後40	
午前41	午前111	午後41	
午前42	午前112	午後69	(計７２問)